



青森県感染症発生情報 (2017年第40週)

I 第40週の発生動向 (2017/10/2~2017/10/8)

1. 手足口病については、東地方+青森市保健所管内で**警報**が**解除**されました。弘前保健所管内、むつ保健所管内では**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、五所川原保健所管内で**警報**が**解除**されました。
3. RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が前週の0.88から1.52に増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっています。RSウイルス感染症は、患者報告の大部分が0歳児と1歳児で、症状が重くなる場合があるので注意が必要です。
4. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が2.70に増加し、注意報レベルの基準値(3)に近づいていますので注意が必要です。

II 第40週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ															-2
	RSウイルス感染症	5	0.63	21	2.33	11	1.10	17	3.40	10	1.67			64	1.52	27
小児科	咽頭結膜熱	2	0.25			1	0.10	1	0.20					4	0.10	0
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	8	1.00	11	1.22	3	0.30	1	0.20	7	1.17	3	0.75	33	0.79	-5
	感染性胃腸炎	24	3.00	9	1.00	5	0.50	17	3.40	2	0.33	9	2.25	66	1.57	-15
	水痘			1	0.11			1	0.20					2	0.05	-4
	手足口病	15	1.88	20	2.22	18	1.80	4	0.80	24	4.00	22	5.50	103	2.45	16
	伝染性紅斑			1	0.11									1	0.02	0
	突発性発しん	7	0.88	1	0.11	10	1.00			2	0.33			20	0.48	-4
	百日咳															-1
	ヘルパンギーナ	2	0.25	2	0.22	5	0.50	5	1.00	3	0.50			17	0.40	-8
	流行性耳下腺炎	2	0.25	1	0.11	27	2.70	2	0.40	2	0.33	5	1.25	39	0.93	15
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00			1	1.00	2	2.00	4	0.67	-2
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

咽頭結膜熱 (五類定点把握対象疾患) 第2回

咽頭結膜熱は、アデノウイルスによる急性ウイルス性感染症です。潜伏期間は5~7日で、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状がみられる、小児に多い病気です。本県における昨年の定点医療機関からの患者報告数は689人で、その90%は5歳以下で、特に1歳児が多い状況でした(図1)。従来は、夏季を中心に流行していましたが、近年では、冬季の流行も顕著になっており、夏季と冬季の二峰性のピークが見られています(図2)。

感染経路は主に接触感染、飛まつ感染ですが、その感染力は強力であり、患者が触れたタオルなどに触ることによっても感染する場合があります。予防としては、感染者との濃厚な接触を避ける、手指の消毒の励行、タオルの共用を避ける、などが大切です。

咽頭結膜熱は高熱が比較的長く(5日前後)続くことがあります。特別な治療法は無く、基本的には対症療法となりますが、ほとんど自然に治ります。ただし、生後14日以内の新生児に感染した場合は重症化する場合がありますので注意が必要です。吐き気、頭痛の強いとき、せきが激しいときは、早めにかかりつけ医を受診してください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [咽頭結膜熱について\(厚生労働省HP\)](#)

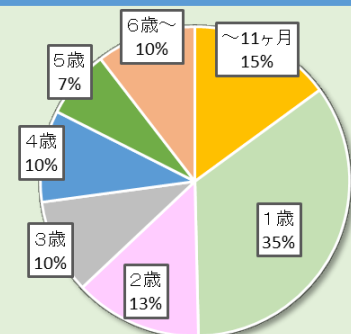


図1 青森県における年齢別患者報告数割合 (2016年)



図2 青森県における定点当たり報告数の推移

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市3人、弘前1人、三戸地方2人、五所川原3人（2017年計:236人）
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人（2017年計:15人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2017年計:56人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

不明熱患者（直腸ぬぐい液、9/12）・・・コクサッキーウイルス A16 型：弘前1人
 手足口病患者（鼻汁、9/20）・・・ヒトライノウイルス C：八戸市1人
 下気道炎患者（鼻汁、9/25）・・・ヒトライノウイルス C：八戸市1人
 麻しん疑い患者（血液、9/26）・・・コクサッキーウイルス A6 型：青森市1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2017年第37週～2017年第40週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
37	H29.9.11 ~ H29.9.17						
38	H29.9.18 ~ H29.9.24		腸管出血性大腸菌 感染症1人 破傷風1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人		梅毒1人	
39	H29.9.25 ~ H29.10.1		腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	
40	H29.10.2 ~ H29.10.8	梅毒1人		カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2017年第37週～2017年第40週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
37	H29.9.11 ~ H29.9.17		4	1			
38	H29.9.18 ~ H29.9.24	2	5		1		2
39	H29.9.25 ~ H29.10.1	1	2	1		1	2
40	H29.10.2 ~ H29.10.8	3	1	2	3		

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第1週～2017年第39週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	16929	7	117	3220	28	12	243	220	22	10

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	1	3	74	2	3	113	195	254	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	3	44	18	1	1279	28	807	215	1209	528

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	9	154	419	1029	46	274	20	2415	220	4245

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	98	101	62	69	180	17

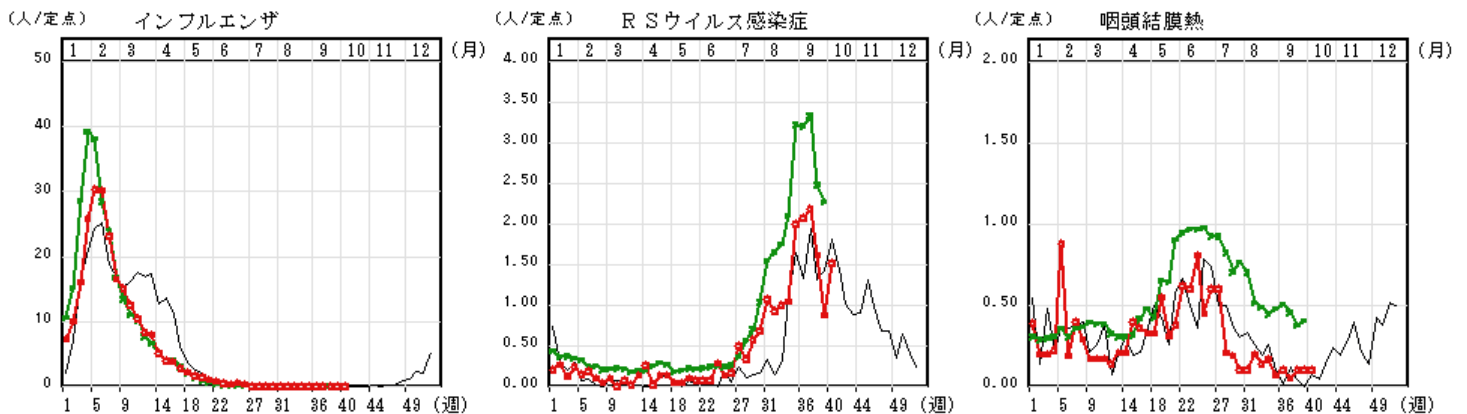
青森県（2017年第1週～2017年第40週までの累計）

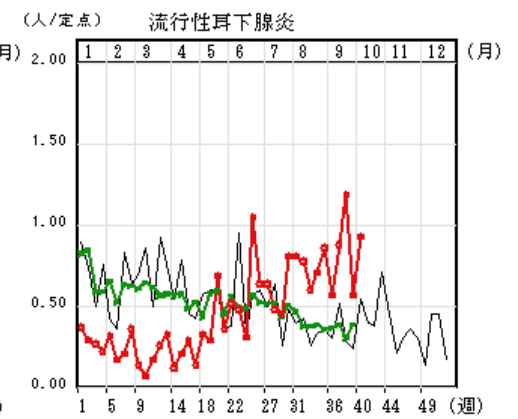
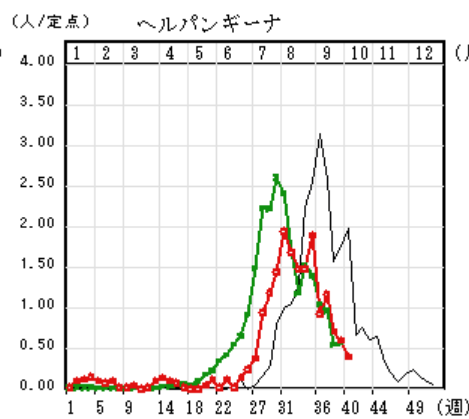
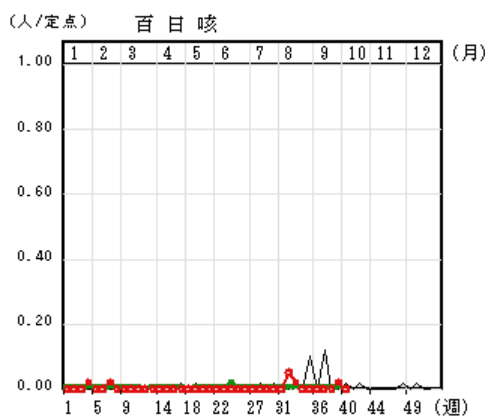
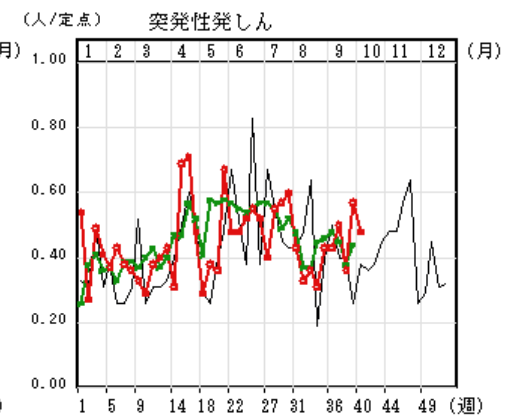
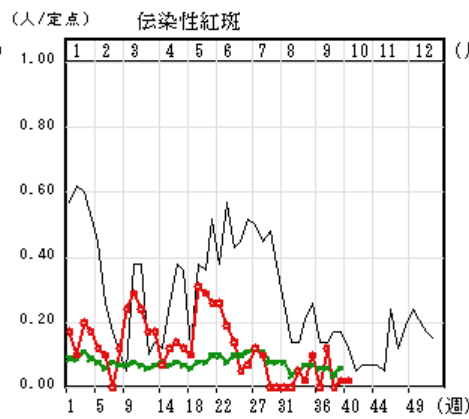
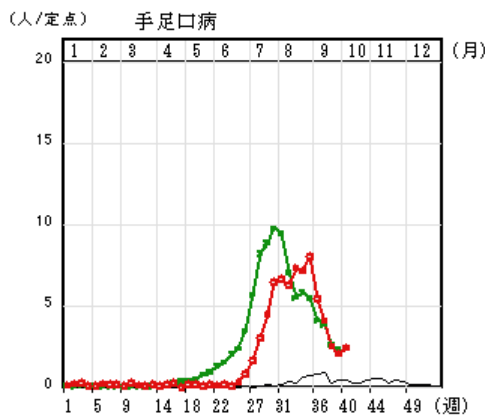
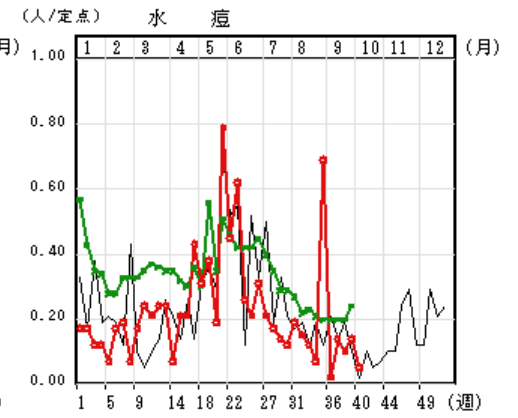
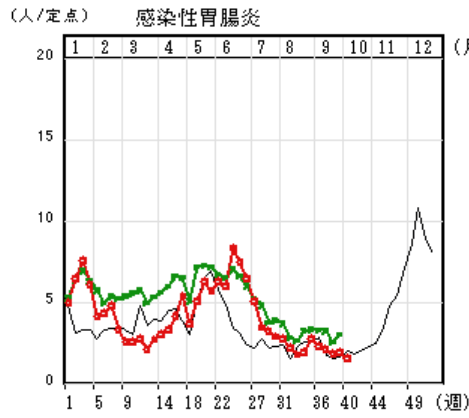
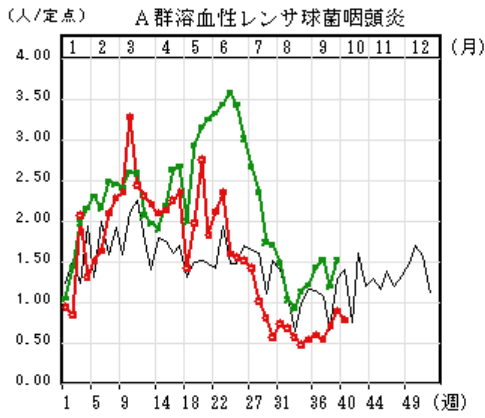
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	236	28	6	2	10	1	7	4	15	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	5	1	8	1	56	1

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第40週、ただし全国は前週）

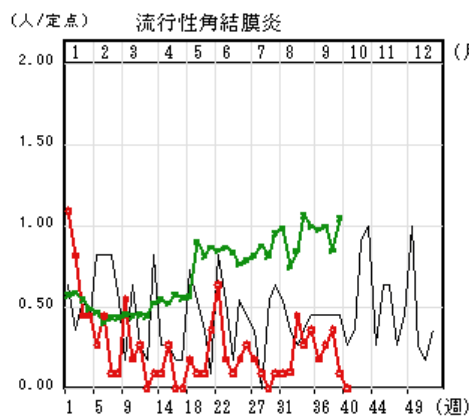
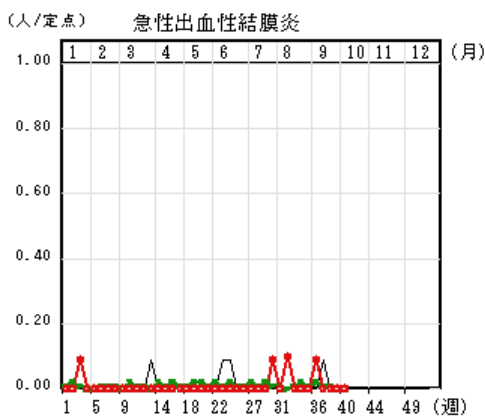
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





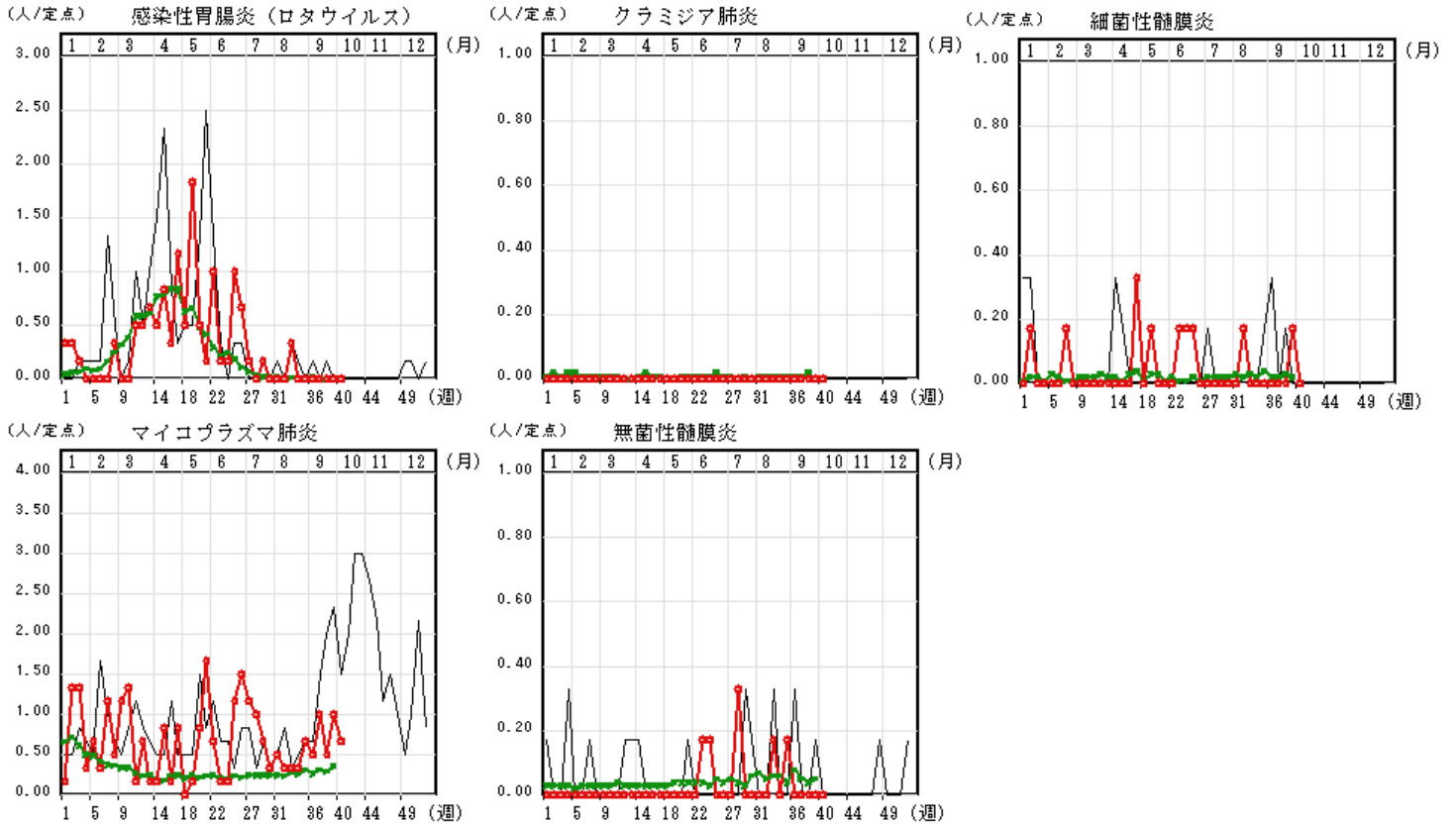
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第40週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第40週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第40週

報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	1	0	7
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	15	0	134
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	1	0	10
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	15	0	227